

「元気」・「笑顔」・「思いやり」つながる

じょうさい

城西中学校だより

第2号

令和8年4月13日

校長 松門寺 宏和

第64回 入学式を挙行しました

4月9日（木）、朝からあいにくの空模様ではありましたが、無事に、『第64回 佐賀市立城西中学校入学式』を挙行することができました。足元の悪い中、式に参加くださった方々にお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

今回の入学式を無事に終えることができた背景には、先生方の入念な計画・準備とたくさんの生徒たちの協力がありました。

例えば、前日の会場準備と当日の会場片付けは、2、3年生の有志が力を貸してくれました。その様子を見ながら、私もお手伝いをしていましたが、先生からの指示を待つのではなく、「他にすることはありますか？」と、自分から先生に尋ねている姿が見られるようになりました。また、私が荷物を運んでいると、「校長先生、代わります」と言って、快く仕事を引き受けてくれた生徒もたくさんいました。

入学式当日の朝は、生徒会の皆さんが早くから登校し、新入生の誘導等をしてくれましたし、式でも、新入生入場の時から、2、3年生が大きな拍手をして、温かい雰囲気を作ってくれました。そして、新入生も真剣な表情でしっかりと話を聴いてくれていました。このように、新入生も、2、3年生も、全員が協力してくれたからこそ、今年の入学式を無事に終えることができました。本当に、ありがとうございました。

さて、学校長の式辞では、以下の話をさせていただきました。どうぞご覧ください。

式 辞

《 序段 省略 》

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。先生方も、二年生、三年生の先輩方も、皆さんの入学を心待ちにしていました。皆さんは、今日から城西中学校の一員です。これからの学校生活で、自分の可能性を広げ、自分らしく成長してほしいと思います。

さて、新入生の皆さん。これから始まる中学校生活をより豊かなものにするために、皆さんに大切にしてほしい三つのことをお伝えします。

一つ目は、「自分で考え、行動すること」です。

中学校では、学習する内容も、活動の幅も、大きく広がります。その中で大切なのは、誰かに言われたから動くのではなく、「自分はどうしたいのか」「どうすればより良くなるのか」を自分自身で考え、

行動してみることです。

時には上手くいかないこともあるかもしれませんが、しかし、失敗は決して恥ずかしいことではなく、むしろ、挑戦した人だけが得ることができる貴重な経験であると言えます。

また、自分で考え、行動する力は、皆さんがこれから未来を切り開いていく時の大きな武器になります。小さなことでも構いません。その積み重ねが、きっと皆さんを成長させてくれます。

二つ目は、「仲間を大切にすること」です。

中学校生活は、皆さんが多くの仲間と出会い、共に学び、成長していくかけがえのない時間です。授業で意見を交わすとき、部活動で励まし合うとき、学校行事で力を合わせるとき——これら一つひとつが、仲間との絆を深める大切な場面になります。

けれども、その中で、時には意見がぶつかったり、思いがすれ違ったりすることがあるかもしれません。しかし、そのようなときこそ、相手の気持ちに耳を傾け、理解しようとする姿勢が大切です。自分とは違う考え方や価値観に触れることで、皆さんの世界は大きく広がります。

また、困っている友だちにそっと手を差し伸べたり、誰かの頑張りを認めて励ましたりすることも、立派な「仲間を大切にする姿」です。この積み重ねが、皆さんを成長させ、学校を、安全で、安心できる場所にしていきます。

そして三つ目は、「自分の可能性を信じること」です。

皆さんは今、自分の得意なことや好きなことを少しずつ見つけ始めている時期だと思います。しかし、皆さんの中には、まだ自分でも気付いていない力や、これから伸びていく力が必ずあります。中学校の三年間は、その“まだ見えていない可能性”が、少しずつ姿を現し始める時間です。

新しい教科、新しい友だち、新しい活動、これら全てが皆さんの可能性を広げるチャンスです。最初は上手くいかないことがあるかもしれませんが、挑戦し続けることで、できなかったことができるようになり、「自分にもこんな力があったんだ」と気づく瞬間が必ず訪れます。

大切なのは、自分と周りを比べてたりして、「どうせ自分は無理なんだ」と、自分で限界を決めてしまわないことです。自分を信じて、自分なりの一歩を踏み出す勇気をもってください。城西中学校の先生たちは、皆さんがその可能性を見つけ、伸ばしていけるよう、全力でサポートしていきます。

新入生の皆さん。今、お伝えした三つのことを大切にして、明日からの学校生活を頑張ってください。

《 保護者様ならびに来賓の方々へのご挨拶 省略 》

入学式の準備から後片付けまでの数日間ではありますが、生徒たちが見せてくれた姿を振り返ってみると、城西中学校の生徒には『自分も、周りの人も、大切にする』という意識が醸成されつつあるのかもしれません。それが、今後どのような形で表れてくるのか、今後の生徒たちの成長が楽しみでなりません。